



ご当地 **よ坊さん** 茨城
みがこーモン

茨 歯 会 報

No.532

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

June
2013
平成25年

6





Contents

理事会報告	1
会務日誌	2
学校歯科保健委員会だより	4
センターだより	6
専門学校だより	9
支部だより	12
寄稿	14
田 中 晃 伸	
茨歯アンテナ	21
歯科コラム	22
赤えんぴつ	23

表紙写真について

雨引観音のあじさいまつり

毎年6月上旬から7月中旬にかけて行われます。

境内にはセイヨウアジサイ、ガクアジサイ、アマチャなど約10種3000株のアジサイが植えられ、新緑の境内を彩ります。

(社)茨城・県西歯科医師会 古橋 仁

理事会報告

第2回理事会

日時 平成25年5月16日（木）午後4時

場所 茨城県歯科医師会館 役員室

1. 報 告

(1) 一般会務報告

(2) 退会について

退会年月日	氏 名	事 由	支 部
H25.3.31	須藤 文彦	県外転出	鹿 行
H25.4.23	朝山久三郎	死 亡	県 南
H25.4.27	小竹 明	死 亡	土浦石岡

(会員数 1,318名)

(3) クールビズについて

※5月～10月まで。

(4) 監事の辞任について

(5) 振り込め詐欺被害防止協力について

(6) 日本大学松戸歯学部との災害協定について

※5月9日協定を締結した。

(7) 会費未納者の対応について

(8) 地域保健委員会予備委員の招集について

(9) 各委員会報告について

地域保健委員会、学校歯科委員会、
専門学校

2. 協議事項

(1) 入会申込書の受理について

小泉 望 明海大歯 日立支部

長島 正尚 日歯第 珂北支部

水沼 秀之 神歯大 鹿行支部

山崎 貴也 日大松戸 県南支部

上記4名の入会を受理した。

(2) 5月開業の歯科医院について

開業予定歯科医院5件について入会を勧めることとした。

(3) 第152回定時代議員会について

議事に関し確認した。

(4) 第153回臨時代議員会について

7月18日に開催することとした。

(5) 茨歯会館の借用申込について

茨城県医師会より依頼のあった、10月27日（日）の茨歯会館借用について、使用する学会等確認することとした。

(6) 所得割負担金から定額会費への移行について

第152回代議員会にて資料を提出することとした。

(7) 学校保健・学校安全表彰の推薦について

標記表彰の推薦について会長に一任することとした。

(8) 役員選挙実施要領について

選挙管理委員会より提出された標記要領について承認した。

(9) 周術期口腔機能管理講習会の共催依頼について

日立歯科医師会より依頼のあった標記共催依頼について承認した。

(10) 連盟との協議会について

過日、開催された標記についての内容を説明し、連盟との関わり合いと、本会が進むべき方向性について協議を行った。今後、連盟に対して、本会の意向を速やかに伝え、協議していくこととした。

(11) 防災・危機対応事業について

医師会、薬剤師会、看護協会も含めた組織連携を考えることとした。

(12) 理事会資料のペーパーレス化について

次回の理事会から資料をPDFにて配布することとした。

(13) 茨城県知事選挙について

標記について、本会事業に対する橋本知事の実績を考慮し、出馬要請をすることとした。今後の活動については、本会の意向を連盟に伝え、協議していくこととした。

会務日誌

- 5月12日 恒例の春のテニス大会が土浦市の霞ヶ浦総合公園にて開催された。
参加者 21名
- 5月13日 振り込め詐欺などの被害を減らすべく県警からの協力要請を受けて、県警本部にて県医師会とともに被害防止への協力を表明した。
出席者 森永会長
- 5月13日 茨城をたべよう運動推進協議会が水戸京成ホテルにて開催された。
出席者 藤田
- 5月16日 日歯認定歯科助手講習会の第1回目を開催。開講式の後、「歯科助手概論」の講義が行われ、その後「歯科助手の心得とマナー」についてコミュニケーションアドバイザーの中村八恵子先生が講義された。
出席者 70名
- 5月16日 第1回医療管理委員会を開催。次回歯科助手講習会の運営と時間配分、スタッフセミナー・感染予防講習会について協議を行った。
出席者 大字医療管理部長ほか10名
- 5月16日 第1回学校運営委員会・第1回講師会を開催。退任講師への感謝状・記念品贈呈、運営委員・講師・職員の紹介などの報告事項の後、教育方法の検討などについて協議した。
出席者 小鹿学校長ほか30名
- 5月16日 第2回理事会を開催。入会申込書の受理、5月開業の歯科医院、第152回定時代議員会、第153回臨時時代議員会、茨歯会館の借用申込み、所得割負担金から定額会費への移行、学校保健・学校安全表彰の推薦、役員選挙実施要項、周術期口腔機能管理講習会の共催依頼（日立歯科医師会）、連盟との協議会、防災・危機対応事業、理事会資料のペーパーレス化、茨城県知事選挙について協議が行われた。
出席者 森永会長ほか18名
- 5月18日 第2回広報委員会を開催。会報5月号校正、会報6月号編集、7月号以降の会報作製について協議した。
出席者 菱沼広報部長ほか5名
- 5月21日 大好きいばらき県民会議の今年度総会が三の丸庁舎にて開催された。
出席者 森永会長
- 5月22日 第1回備品・消耗品監査を執行。土浦センターと茨歯会館にて、土地、建物、備品、消耗品の管理保管並びに整備状況について監査を行った。
出席者 北澤監事ほか7名
- 5月22日 第1回業務会計監査を執行。業務並びに制度に関する監査（2月1日～3月31日、4月1

日～4月30日)、会計に関する監査(平成24年度収支決算)を行った。

出席者 北澤監事ほか7名

5月29日 県栄養士会定時総会が県民文化センターにて行われた。

出席者 森永会長

5月29日 百里飛行場にて行われた航空機事故対処緊急計画についての連絡協議会に参加した。

出席者 小鹿副会長ほか1名

5月30日 第2回歯科助手講習会を開催。「医療機器の保守・点検」「医薬品・材料の取扱い」について講義を行った。

受講者 67名

5月30日 第2回選挙管理委員会を開催。役員選挙について協議を行った。

出席者 高野選挙管理委員長ほか6名

5月30日 第1回地域保健委員会を開催。今年度委員会事業、今年度県委託事業、口腔機能健康測定、親と子・高齢者のコンクール、歯科保健賞、事業所出前健康教室、酸蝕症特殊健診について協議を行った。

出席者 渡辺常務理事ほか11名

5月30日 東京医科大学茨城医療センター主催の医療連携懇談会がつくば市にて開催された。

出席者 森永会長ほか1名

5月30日 第1回学術委員会を水戸市内にて開催。歯科医学会誌編集、合同委員会、日歯生涯研修セミナー、シンポジウム、公開講座講師について協議を行った。

出席者 岡崎学術部長ほか9名

5月31日 都道府県会長会議が日歯会館にて開催され、時局問題について協議が行われた。

出席者 森永会長

6月 2日 水戸医療センター院長の園部眞先生の退官記念パーティーがプラザにて催された。

出席者 森永会長

6月 3日 内外情勢調査会の6月例会が水戸京成ホテルにて開催された。

出席者 森永会長

6月 9日 口腔センターの主催により心身障害者歯科講習会を開催。「求められる歯科医師と大学の対応」「茨城県障害児者歯科医療の最前線」と題して講習を行った。

出席者 38名

6月12日 茨城歯科専門学校戴帽式を挙行。歯科衛生士科2年生53名が小鹿校長から戴帽の儀を受けた。

出席者 214名

6月12日 茨城新聞新春合同政経懇話会6月例会がホテルテラスザガーデン水戸にて開催された。

出席者 森永会長

第70回 学童歯みがき大会

学校歯科委員会 椎名 和郎

平成25年6月4日（火）、第70回学童歯みがき大会が開催されました。この大会は第65回大会からインターネット同時配信がスタートし、今年は日本国内とアジアの小学校合わせて902校54,300人が参加しました。

茨城県では、第66回大会に水戸市立新荘小学校が参加し、その後、11校、13校、46校、そして今年は66校と年々参加校が増えています。

また、今年から歯科衛生士養成校も参加するようになりました。全国で13校が参加し、茨城歯科専門学校も2,3年生106名がリリーベール小学校の生徒と一緒に参加しました。



今年のテーマは「見逃すな、歯ぐきのサイン。みがいてつくろうお口の健康」です。

まず初めは「健康行動をチェックしよう」です。日常の生活習慣についてのチェックシートへ記入しました。

今年もケータイゴングといって、参加校が携帯電話で参加できるクイズが用意されていました。

問題：歯垢1mg中の細菌の数は？

問題：歯肉の写真はどれ？（口唇、舌、歯肉の写真が出ました）

児童はあらかじめ渡されていた片面が黄色、反対側が緑の団扇を使って回答します。クイズが終わるとすぐに答えと集計結果が出ますから、児童は盛り上がります。



次に、歯ぐきのサインについてのクイズがありました。

健康な歯肉と、炎症がおきている歯肉のイラストを比較し、炎症が起こっている歯肉の特徴を調べます。形はどうか？色は？硬さは？出血は？と観察していきます。次に、自分の歯肉を鏡で見て観察しました。そして、明海大学学長の安井利一先生から歯ぐきのサインに気づいたら、歯と歯肉の境目を意識して歯みがきするように、というお話がありました。

それから、歯のみがき方ステップアップ講座です。

- 1) 歯垢がつきやすい場所
- 2) 歯ブラシの当て方
- 3) 歯ブラシは1cmを目安に動かす

4) 軽い力でみがく

5) 1カ所20回以上みがく

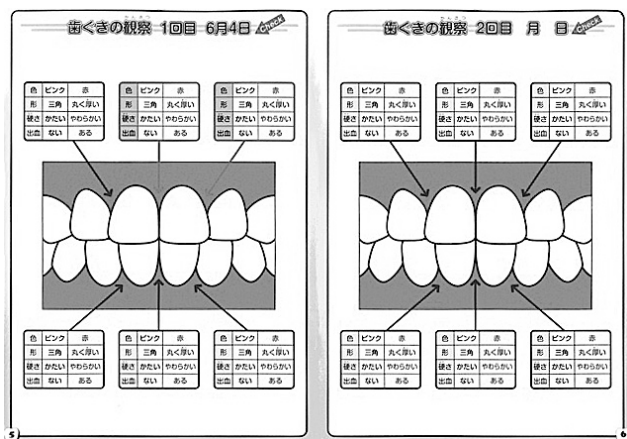
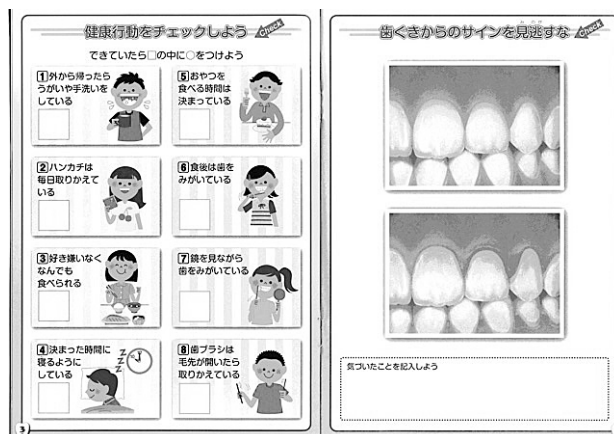
という解説のあと、実習に入り、軽い力で、細かく、20回以上みがくという練習をしました。そして奥歯の生えている途中の歯のみがき方も練習し、最後に歯ブラシの交換時期についての説明がありました。

私はリリーベール小学校でこの中継を見学し、あとで内容についていくつか質問をしました。が、児童はとてもよく理解していました。

学校歯科医の職務には歯科検診だけでなく、事

後措置も含まれます。この学童歯みがき大会のインターネット中継は、対象が小学校4,5,6年生ですが、5時限目におさまるようにできていますし、内容も分かりやすいので、事後措置の一つとして活用すると思います。たとえば4年生と学年を決めて毎年受けさせれば児童の口腔の健康に対する知識が向上するでしょう。

来年の歯みがき大会の募集は今年の11月頃から始まると思います。ご興味のある方はライオン歯科衛生研究所のホームページ (<http://www.lion-dent-health.or.jp/>) をご覧下さい。





障害者歯科認定歯科衛生士を目指して

茨城県身体障害者小児歯科治療センター

鈴木 哉絵、関口 浩、村居 幸夫
征矢 亘、鈴木 和男

私が、障害者歯科に興味を持ったのは歯科衛生士専門学校の時です。口腔センター実習で行動調整しながら治療をしている場面を見たのがきっかけです。そして歯科衛生士になり口腔センターに勤務して今年5年目を迎えました。最近、もっと患者さんから必要とされる歯科衛生士、頼りにされる歯科衛生士になりたいと思い、患者さんの為に私ができる事を増やしていきたいと感じました。そこで、障害者歯科認定衛生士取得を1つの目標に日々さまざまなことを学びながら診療に励んでいます。

口腔センターには毎日たくさんの患者さんが来院します。その中でも定期健診で来院する患者さんが多いです。私が新人の頃から担当することが多く一番印象に残っている患者さんを紹介します。37歳、男性、発達遅滞の患者さんです。20歳の頃から口腔センターに通院しています。最初は虫歯の治療が主訴でした。治療後も3ヶ月に1回の間隔で定期健診のため通院を続けています。私が最初に担当した時、プラークと歯石が歯面にたくさん付着していて、新人だったこともあり、除去するのにものすごく時間がかかってしまいました。その後も何回か担当するものの口腔内の状態に、変化はありませんでした。染め出しをして鏡をみてもらい歯ブラシのあて方を練習すると、上手に磨くことができます。しかし、家で歯磨きをするという習慣がなかったのです。毎回毎回同じ事の



繰り返しになってしまいますが、毎回同じように練習もつづけました。そしてあるとき前歯の表面だけプラークの付着がなくなりました。聞いてみると、来院する前に歯磨きをしてきてくれたのです。私はとてもうれしく思いました。時間はかかるが少しでも変化が見られた事にやりがいも感じました。今では、電動歯ブラシと歯ブラシを使用し家で頬側と咬合面は自分で磨く習慣が序々に付き始めました。また、この患者さんは、いつも終わって帰る時に手を振りながら「頑張って」と声を掛けてくれます。最初言われた時、涙が出てしまったことを覚えています。新人だった私は多分、覚える事が多く、先生に注意されてしまう事も多々あり、うまくできない自分に落ち込んでいて、きつともものすごく暗い顔をしていたと思います。その一言にものすごく助けられ元気をもらいました。今も「頑張って」と言われると新人の頃を思い出し、

もっと頑張ろうという気持ちになります。

このように、口腔センターに来院している患者さんは、長年通院しているベテラン患者さんが多く、私たちの行動、表情、声などよく観察しています。そしてなにより素直で正直です。嫌なことはいや、痛い時は痛いと言葉ではなくてもさまざまな行動で表現したりします。また、治療するのに泣いていた小児の患者さんが、泣くことなく自らユニットに寝ることができるようになるなど、ちょっとした成長も見ることができます。そしてもう一つ最近、患者さんの成長を感じるのが、摂食嚥下リハビリテーション外来に来院している患者さんです。障害を持つ低年齢児の患者さんの来院が増え0歳児の時から来院している患者さんもあります。抱っこされて来院していたのにいつの間

にか歩いて診療室に入ってきたり、ミルクを飲んでいたのに、自分でご飯をスプーンから唇でとり込み上手に捕食していたり、前歯でがぶりとかじり取りして食べるなど、見ていてとてもかわいく思います。唇を使い取りこみ、よくかんで食べる事で口腔内にも変化がみられます。患者さんにうまく説明できるように、摂食嚥下の方も勉強中です。患者さんが、いつまでも自分の歯でおいしくご飯を食べれるように、口腔内環境の改善とともに、安全に食べることができるよう機能的な所もみていけるようにしたいです。そして、少しでもその支援ができるよう、患者さんが頑張っている分、私も日々レベルアップしていかなければいけないと思いさまざまな事に挑戦し続けたいです。

.....

**【茨城県身体障害者小児歯科治療センター
非常勤医局員 景山万貴子氏就任】**



茨城県身体障害者・小児歯科治療センター（開設者 森永和男）に、非常勤医局員（月曜日担当）として本年4月から景山万貴子氏が就任しました。

同氏は、平成16年3月日本大学松戸歯学部を卒業、その4月同大学同学部顎顔面矯正学講座研修医として入局し研修を積み、現在同講座の助手（専任扱い）の職にあります。

口腔外科診療に永く携わり、その知識と臨床か

ら得られた経験を基に本県の障害者歯科医療に大きく貢献して頂きたいと関係者から大きな期待が寄せられています。

**【茨城県土浦心身障害者歯科治療センター
専任歯科衛生士 坂巻ますみ氏就任】**



茨城県土浦心身障害者歯科治療センター（開設者 森永和男）に、専任歯科衛生士として本年4月から坂巻ますみ氏が就任しました。

同氏は、昭和61年3月北原学院歯科衛生専門

学校を卒業、複数の歯科診療所勤務を経っていますが、平成21年までの10年余、本歯科治療センターで非常勤歯科衛生士として勤務しておられました。

新任とはいえ、これまでの経験を基にさらに活躍して下さるものと期待されております。

【スタッフ紹介】

本年、水戸と土浦の障害者歯科治療センターのスタッフの就退任、異動等がありましたので、改めて以下のとおりスタッフの紹介をします。

〔6月1日現在〕

※ 敬称略、◎印：新任、
○印：茨城歯科専門学校より異動

■ 茨城県身体障害者小児歯科治療センター

(略称 水戸口腔センター)

歯科医師 関口 浩

(水戸口腔センター長、管理者)

(担当 月、火、木、金曜日)

〃 大森勇市郎

(担当 木、金曜日)

〃 林 佐智代

(担当 火曜日)

〃 森永 桂輔

(担当 随時)

〃 ◎景山万貴子

(担当 月曜日) 25.4.1～

歯科衛生士 野村 美奈 (主 任)

〃 鈴木 哉絵 (専 任)

〃 ○鬼澤 璃沙 (〃) 25.4.1～

〃 金子 雅子 (非常勤)

〃 高橋 裕子 (〃)

受付事務 ◎磯部 昌己 (〃) 25.4.22～

■ 茨城県土浦心身障害者歯科治療センター

(略称 土浦歯科治療センター)

歯科医師 丸山 容子 (管理者)

(担当 火、水、木曜日)

〃 高木 伸子

(担当 木曜日)

〃 梅澤 幸司

(担当 月曜日)

〃 伊藤 梓

(担当 金曜日)

歯科衛生士 ◎坂巻ますみ (専 任) 25.4.1～

〃 竹中 京子 (非常勤)

〃 木村 貴子 (〃)

〃 石居 由香 (〃)

〃 狩野 晴美 (〃)

管理栄養士 手塚 文栄 (〃)

(文責 江橋)



【歯科衛生士科親睦会】

5月2日（木） 内原ヘルスパークにおいて、
歯科衛生士科全学年159名、専任教員6名で親睦会
を行いました。

例年の親睦会は、球技のスポーツを行って
おりましたが、今回は、親睦をさらに深めるために、
クラス全員が参加できる競技を企画し、3人4脚リ
レー、背中渡り、大縄8の字跳びを行いました。ク
ラス全員での参加ということもあり、どの学年も例年
に増して朝から気合が入って練習をしていました。

3人4脚は、足を縛る手ぬぐいをバトンとし、
コースに置かれたコーンを目印に8の字に走って
行きました。3人4脚で8の字に走るのは難し
く、苦戦している場面も見られました。

背中渡りは、学年ごとに馬をつくり、代表者が
その上を渡って行く競技ですが、バランスをとり
ながら渡るのに苦戦している様子でした。

大縄8の字跳びは、1回目5分間、2回目3分
間で行いました。

どの競技も始まると、各学年が一致団結して
行っていたり、応援する姿も見られました。専任
も参加し、学生と同じように熱くなっていたのが
印象的でした。

結果は競技ごとに1位から3位の点数を決め、
その合計得点で順位を決めました。1年生が優勝
でしたが、他の学年も結果にとらわれず、一致団
結して行った達成感に溢れていました。

今回の親睦会を通して、各学年の交流が図れ、
短時間ではありましたが、有意義な時間をすごせ

たと思います。秋には、スポーツ大会を実施する
ので、各学年の活躍を期待したいと思います。



（文責 保科）

【歯科技工士科親睦会】

5月17日（金）、水戸市のグリーンボウルにて
歯科技工士科の学生主催による親睦会が行われま
した。1学年20名、2学年13名、専任教員3名が
参加し、ボウリング大会という形での開催となり
ました。

個人及びチームでの上位者には景品も出るという
ことで、張り切って臨む学生も多くみられました。



ストライクを狙って…

普段は授業が忙しく、学年間の交流があまりない中で、この日はスポーツをしながら楽しく会話もでき、ピンを倒すたびに歓声が上がるなど、日頃の授業でのストレスを解消しながら親睦が深められたようです。



ゲーム後に全員で記念撮影

あっという間の時間でしたが、この日は授業から解放され、楽しいひとときを過ごせたようです。身体と心を少しリフレッシュできたので、また新たな気持ちで授業に取り組めるのではないかと思います。

(文責 中村)

高等学校歯科医の先生方に感謝!!

教頭 田中 晃伸

この号が発行される頃ほぼ専門学校への学生勧誘のための高校訪問が終わっていると思われます。

高校訪問の重要性は、まず、学校の進路担当に歯科衛生士という職業を認識していただき、医療系を希望する学生がいる場合、当校への受験を薦めていただくということでもあります。

本年より効率的に高校訪問を行うために、事前に学校歯科医にお願ひし、進路担当の先生に訪問の意図を伝えていただきました。

2年前に私が高校訪問を始めた時期には、歯科衛生士という職業さえもあまり認知されておらず、まして高校側にとっては多くの専門学校の中のひとつでしかなく、まったく相手にされない高校もままあり、自医院の診療を休み時間を割いて飛び回っていることに、やや虚しさを感じたこと

がありました。

本年は先にも述べたように多くの学校歯科医の協力により、訪問を行った際のレスポンスが非常に高いものであり、歯科衛生士という職業を相手方に十分認知していただいた感触があります。

毎年進路担当教諭は交代することが多く直ぐに結果はでるとは思いませんが、こういった積み重ねが重要ではないかと思っています。

何卒、今後とも宜しくお願いいたします。

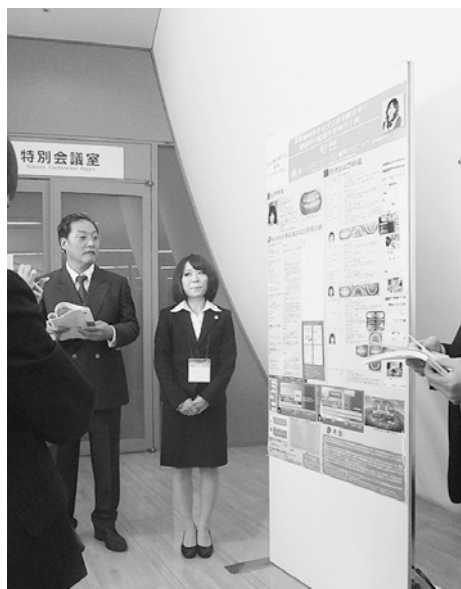
認定歯科衛生士

5月岐阜にて開催されました日本小児歯科学会に参加して参りました。

日本小児歯科学会も認定歯科衛生士制度があ

り、私もその審査委員であるため本会や地方会での審査を行っています。

書類審査で認められた者が学会にてプレゼンをするのですが、そのレベルは非常に高く、下手な歯科医など足元にも及ばない内容です。



審査を受ける歯科衛生士

どの学会も最近はこの認定歯科衛生士の育成に力を入れているようですが、認定歯科衛生士を取得したからといって、たぶん何か大きく変わる訳でもないでしょう。しかし、そこまでに至る過程

において、事象を捉え、さらにそれを論理的に構築しさらにはプレゼン能力を獲得するということは、必ずや後の臨床に役立つものであります。

これらは他のスタッフの応援はもとより、院長の理解があってこそ取得できるものです。

歯科衛生士教育に関わる末端の者として、将来こういった認定歯科衛生士を望む学生が一人でも育てることができればと思います。



口腔センターの関口浩先生が受賞される

なおこの学会で平成24年度のPDJ（英文誌）優秀論文賞に口腔センターの関口浩先生が受賞されました。

おめでとうございます。

アイ・デー・エスは…

医師賠償責任保険

所得保償保険

自動車保険

火災保険

小規模企業共済制度

生命保険

…など各種保険の代理店、集金業務を行います。新規加入、増額変更、何なりと御用命下さい。

（アイ・デー・エスは、イバラキ・デンタル・サービスのイニシャルです。）

有限会社 **アイ・デー・エス**

代表取締役 **森 永 和 男**

水戸市見和2丁目292番地 茨歯会館内 TEL:029(254)2826

◆◆◆ 水戸市歯科医師会学術講演会のご案内 ◆◆◆

水戸市歯科医師会では「スタッフと共に学ぶ」という統一テーマで、平日夜に講演会を企画しております。
今回は歯科医師のみならず歯科衛生士向け研修会でも人気の日本大学歯学部特任教授の伊藤公一先生に講演をいただくことになりました。この春臨床現場にデビューしたスタッフの方もいると思いますが、いざ臨床にでてみるといろいろな疑問が日々あると思います。

今回の講演でプラークコントロールの最新の考えを知り、臨床につなげることができると思います。
ぜひ「スタッフと共に」ご聴講いただけますようお願いいたします。

統一テーマ：スタッフと共に学ぶ

今回の演題：最近のプラークコントロールの考え方

講師：伊藤 公一 先生

日本大学歯学部特任教授

日時：平成 25 年 7 月 23 日（火曜日） 19：00～ 21：00

場所：茨城県歯科医師会館 3 F 講堂

* 駐車場の混雑が予想されますので、ご注意下さい。



◇ 講演要旨 ◇

国民病とも言われている歯周病は、プラーク中の細菌によって起こる感染症と生活習慣病の二面性を有します。したがって、感染源である病原菌を抗菌薬などで除菌すれば治癒が期待できます。歯周病の危険因子は、細菌因子、生体因子および環境因子からなります。歯周病は、病原菌と生体応答との均衡が破綻することによって生じますが、日常の喫煙、ストレス、食生活などの生活習慣が歯周炎の発症や進行に影響を及ぼしています。よって患者の生活習慣の改善なくして、歯周治療の効果はあがりません。すなわち、歯周治療を成功させるためには、患者さんの理解と協力が必要となるのです。

口腔内に病原菌と慢性炎症があると全身の各臓器に影響を及ぼすことが、菌性病巣感染として古くから知られています。最近の研究によれば、歯周病が心臓血管障害、低体重児出産、早産、誤嚥性肺炎などの全身疾患と関連のあることがわかってきています。とりわけ、歯周病と糖尿病との関連がクローズアップされています。

歯周治療の原則は、他の疾患の治療と同様に早期発見、早期治療が当てはまります。さらに、ミニマムインターベンションの概念に基づいた合理的な歯周治療が不可欠となります。大部分の歯周病は、患者さんと歯科医療従事者の協力のもとで、生涯にわたって危険因子を極力低レベルにコントロールすることで、病変

の進行をコントロールすることが可能となります。最新技術や材料を応用した歯周組織再生療法、骨増生法および歯科インプラントなどの先進歯科医療は著しく発展してきました。しかし、その治療効果を長期にわたって維持するには、サポータティブペリオドンタルセラピーやメンテナンスなどの支える歯科医療が必須となるのです。

人生80年の時代において、生涯にわたり質の高い生活を送り、かつ、日常生活動作を円滑に行うためには歯や口腔ならびに全身の健康づくりはきわめて重要であり、それを遂行するために歯周病予防と歯周治療は不可欠です。

本講演では、最近のプラークコントロールの考え方を紹介しますので、ぜひ奮って参加して下さい。

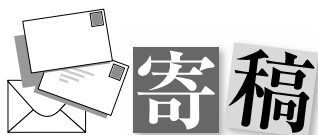
日歯生涯研修コード：2504 登録システム短縮コード：84996



We try best!
For healthy and white teeth

本 社	〒110-0016 東京都台東区台東2-23-7	TEL 03-3832-8241
水戸支店	〒310-0804 茨城県水戸市白梅2-8-18	TEL 029-225-6543
宇都宮支店	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地37-6	TEL 028-613-5858
松戸支店	〒270-0034 千葉県松戸市新松戸3-366	TEL 047-345-3131
野木支店	〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町丸林384-15	TEL 0280-56-0567

iwase 株式会社 岩瀬歯科商会 千葉支店・福島支店・世田谷支店・横浜支店・前橋支店・大宮支店・東大和支店・盛岡営業所



“医聖達の系譜 その十三 岸田吟香” —目薬の普及と日本の近代化に貢献した起業家—



岸田吟香

(社)鹿行歯科医師会 田中 晃伸

知らぬ土地とはいえ・・・

昨年7月初旬岡山で学会発表を終えた翌日、鳥取との県境に横たわる中国山脈の麓に位置する津山を目指し北上した。

前日（と言ってもほとんど数時間前だが）のドンチャン騒ぎの後のラーメンが胃の腑でもがいていた。

同行はいつもの当院の先生である。

二日酔いのせいか会話も少なく、横顔から覗く眉間の皺で『何をすき好んで・・・』と腹の中でつぶやいているのが読み取れる。

今回の主人公は岸田吟香である。

津山は岡山の山間部にありほぼ中国地方の南北の真ん中にある。

この地は洋学や医学の盛んな土地であり、江戸

時代に活躍した宇田川三代（玄随・玄真・榕庵）などの蘭医を輩出した地方であり、吟香に関する情報を得るため津山洋学資料館を訪れた。

洋学資料館で資料を整えた後、さらに旭町の旭文化会館で吟香の資料を集めて、旭川湖畔に立つ“吟香顕彰碑”（図1）に向かった。

これがとんでもない山奥なのである。

湖畔に立つ吟香の記念碑を撮影した後、またさらに一山向こうの吟香の生家である埴和村を目指したが、これが後に生死をかけて山中を彷徨う始まりである（ちょっとオーバーかな！？）。

いつもはレンタカーのナビを頼りに目的地に向かうが、吟香の生家など登録されている訳でもなく、何となく大雑把な地図を頼りにした。これがとんでもない失敗だったのである。

湖畔より山道を登り始めた。



図1 旭川湖畔の岸田吟香記念碑

元々狭い二車線がさらに一車線となり不安を感じはしたが、馬鹿故の根拠の無い自信が交感神経を支配し、イケイケ精神でさらに山奥に入ったわけである。

後にわかったことだが、元々この道は車道ではなく林業保全用の道であり、完全な間違いだったのである。

獣道のような細さになって行く。

引き返したくても引き返せない状態である。

ただ、行くしかないのである。

さらに困ったことは、ガソリンのエンプティータンクがすでに点滅していたのである。

夏場ながら八甲田山の山口鋸少佐並みの震えを感じた。

左側は山肌スレスレ、右側には崖というような道（図2）をひたすら登るのであるが、実際に我々の車の眼前をウリ坊が横切った時は驚いた。

1時間近く山道をグルグル廻り、這う這うの体で峠を越えガソリンランプの点滅が付きっ放しになった頃、多少道幅も広がりひと安心となった。

岸田家本家

さて、こうして岸田吟香の誕生地を目指し山間の田んぼの片隅に小さな吟香誕生碑をやっと探し当て写真撮影（図3、4）をすることができた。

こんな写真1枚のために危うく、車ごと谷底に



図2

落ちるところだった。

滴る汗を拭うと、運転の緊張と目的を果たしたことで喉の渇きが急激に湧き上がった。



図3 吟香生家近辺



図4 吟香誕生碑



図5 チベた〜〜い自家製紫蘇ジュース！

古い民家の脇に湧き水が出ており、その家の老主人に湧き水をいただく許しを請うと、

「そん水よりゃ、もっとチベた〜〜い飲み物があるけえ、家ん中来さんせえ〜」

と、胡散臭い見知らぬ我々を何の警戒も無く家に招き入れてくれたのである。

家に入ると“チベた〜〜い”自家製の紫蘇ジュース(図5)を目の前に注いでくれた。

これが実に爽やかで美味しいのである！

喉の中を紫蘇ジュースがコロコロと流れ込む。

遠慮無く一気に三杯を飲み干すと、その姿が余程面白かったのか、それとも人の行き来が少ない土地柄のせいで見知らぬ人間が珍しく思えるのか、
「あんたら何しにこねーなところに来たんかえ〜」

という実に優しい語り口で会話が始まった。

我々が吟香の誕生碑を探しにきたことを伝えると
「ほんにゃま〜〜！ 珍しかけん！ わしとこな〜吟香さんの本家じゃけえよ〜」

こんな出会いがあるから

医学史探訪はやめられない！！

聞くとところによると吟香は岸田家の一六代総領(長男)であったが、弟に本家を譲り世に打って出

た人である。

その弟のお孫さんが目の前の老主人であり、今もこの山間の中で墓守として岸田家を守っていたのである。

吟香と精錡水

さて、岸田吟香とは何者か！？

あの“麗人像”で有名な画家岸田劉生の父親であり、ヘボン文字で有名なジェームス・カーチス・ヘボンと日本英語教育の基礎辞書を編纂し、また、製氷業や新聞を発刊し日本の近代化に大いに影響を与えた人物である。

医学においては“精錡水”なる点眼薬の普及に力を注いだ人物である。

吟香は天保四年(1833)四月岡山県久米郡埤和谷(先の現旭町柝原)のこの地で岸田秀治郎の長男として生まれた。

幼名達之治。

寺子屋時代より漢書に興味を持ち、一三才の時に久米郡久米町安藤家(図6)に寄寓し漢学を学び、並々ならぬその才能をさらに開花させた。

しかし子どもの頃から好奇心が強かったために、岡山の片田舎で収まる訳もなく、家業を継ぐことなく一八才になった嘉永三年(1850)に江戸に出た。

江戸では林図書館の塾に学び頭角を現し、藤田



図6 吟香が漢学を学び開花させた安藤家



図7 初期のコルク栓の無い薬瓶
岡山県旭町文化会館所蔵



図8 コルク栓を使用した薬瓶
岐阜県内藤薬博物館所蔵

東湖などと交友がはじまった。

安政五年（1858）～萬延元年（1860）に吹き荒れた安政の大獄に関わっていたために、上州伊香保や深川近辺で身を隠していた。

深川に身を潜めいた頃、芸者の箱屋（荷物持ち）になったり、風呂屋の三助（今でいう垢すりのようなもの）で、糊口を凌いでいた。

この頃周囲の者に「銀公」呼ばれていたため、後に雅号を「吟香」としたとされる。

さて、安政の大獄も収まり、日本も開国論に向い吟香もいっばしの論客として名を成していた頃、難治性の眼病を患い苦しめられていた。

元治元年（1864年）に当時横浜で宣教師であり語学者でもあったヘボン医師の元で治療を受けたところ、たちどころに快癒し大変感激した。

以来ヘボンとも親交を結ぶ訳だが、ヘボンが和英辞書を作っていることを知り、ヘボンとともに昼夜を忘れその辞書の編集に打ち込んだのであるがその話は後に回すが、元来漢文の素養の高い吟香がこの編纂に携わったことはヘボンにとって非常に幸運なことであった。

また、ヘボンにその点眼薬の処方を知り“精錡水”として売り出したのであるが、“精錡”はその

水溶液の成分である硫酸亜鉛の中国語を意味する。

この硫酸亜鉛Zink sulfateは現在でも眼科用に収斂作用薬として、結膜炎、眼瞼炎、角膜潰瘍などに使用されている。

“精錡水”の評判は良く、瞬く間に売れ広がり日本は元より上海から中国内部に販路が拡大され、さらには樺太のロシア人からも注文があったとのことである。

さてこの評判になった“精錡水”には、その効果もさることながら、斬新なアイデアが二つ隠されていた。

まず、一つ目のアイデアとして、それまでのわが国における眼薬といえば、原始的な粉薬や練り薬であったが、“精錡水”は西洋風の点眼水をガラス瓶にコルクで閉めるというものであり、当時では大変ハイカラなものであったため評判を呼んだのである。

このコルク栓であるが、それまでの水溶薬は運搬途中に瓶から毀れ出ることが多く輸送に難儀していたのだが、外国人が洋酒類を飲んだ後に捨てるコルク栓を削り、目薬の栓として使用したところ大成功したのである。

これがコルク栓を薬瓶（図7、8）の栓に使っ

た最初とされる。

さらにもうひとつのアイデアとして東京日日新聞の発刊に関わっていたところから、新聞広告を打ったことや錦絵を広告につかったことが宣伝手法として当時大変な斬新さがあり、それもまた“精錡水”が広まった理由であった。

こうして吟香は日本で眼薬を広めたのである。

眼科医ヘボン



図9 ヘボン博士

さて、吟香が出会ったヘボン（図9）であるが、言わずと知れたヘボン文字で日本の英語教育の原点となる人物である。

以前“医聖達の系譜その十 眼科医 高良斎”の章で眼科の発展を調べていたが、幕末から明治初期にかけて訪日した外国人医師達の功績は大きい。

その中でも横浜にプロテスタントの宣教師としてやってきたジェームス・カーチス・ヘボンは医学だけではなく、日本の近代化に極めて大きな足跡を残している。

和英辞書の編纂に苦勞していたヘボンは、漢文の教養が高い吟香の手助けを得て一気に前進した。

二人の努力の末『和英語林集成』として慶応三

年（1867）に出版することができた。

この辞書の特徴は和英のみではなく、英和にも利用できるというものであり、主に実用語を集め明細な解釈をつけ「ヘボン式ローマ字」で日本語を綴り、発音まで示した当時としては画期的な辞書であった。

文字通り辞書の権威として英語の勉強をしようとする者なら、この辞書を持たない者はいなかった程である。

その後もヘボンは教育にも熱意を注ぎ、今のフェリス女学院や明治学院の創立にも関わっている。

彼もまた日本人のために神から与えられた使命に終生忠実に従った素晴らしい人間である。

ちなみに女優オードリー・ヘップバーンはヘボンの血縁者である。

名残り

老主人と話が弾みいつしか冷たい紫蘇ジュースから舌が千切れるほどの熱いほうじ茶に変わった。

奥座敷から吟香がしたためた書や資料を拝見し吟香の人となりも垣間見ることができ、また百年変わらぬ風景や風土について物語の語り部から聞くようにして耳を傾けていたが（図10、11）、いつしか時も経ち名残り惜しくも生家を後にすることとした。

坂道の上から老主人がいつまでも我々の車を見送っているのが見えた。

ふと見ると眼下には見渡す限りの棚田が広がっていた（図12）。

景観はそれを見る側の美意識で時代とともに移ってゆくと言われるが、この見事に美しい棚田だけは数百年変らぬ素晴らしい眺めだった思う。

またこんな山奥の山肌で稲作をするということに、日本人の米に対するアイデンティティーへの執念は凄まじさを感じた。

ちなみに今気付いたが“米”が“異”なると書いて“糞”とは、実に誰しもが納得できる素晴らしい字ではなかろうか！？

なんだか美しい話か汚い話かわからなくなってきた。

おお～～、またふっと言葉が浮かび上がったが“七転八起”と“七転八倒”って“起”と“倒”でこんなにも意味が変わるんですね！改めて漢字というか日本語っていうのは面白いものだ。

でも、七回転んで八回起きるのは理解できるが、七回転んで八回倒れるって、一度も起きたことがないんだから物理的に無理な気がするが・・・



図10 岸田家16代目 岸田尚氏



図11 吟香の書



図12

吟香はこの山間の閉じ込められた変わらぬ風景よりも、広い世界を夢見て村を飛び出した。

ただし、その後この村で学んだ漢学という極めてコンサバティブな表現能力を持って日本の近代化に寄与した訳であるが、それは幼き頃に情動感性がこの農村の原風景に育まれ研ぎ済まれた結果であろう。

吟香の生涯をかえりみると目薬の販売や辞書編纂だけではなく、事業や文化において数々の功績を残している。

どこかで聞いた言葉であるが

「年老いて三十代四十代の頃に“何をしていたか”ということ、思い出すことはまだまだ二流の人生である。“これから何をしたいか”ということ、思い出せることが一流の人生である。」

そのような意味では常に何かを創造していた吟香の人生は一流に値すると言えよう。

眼薬販売で財を築いた以後、終生多くの文化的発火点となりながら波乱万丈に明治を生きた吟香であるが、明治三八年（1905）七三才でその生涯を閉じた（図13）。

さてヘボンと吟香のように互いの価値観を理解するには、まず絶対的条件として共通の言語が必要となる。

また言語は更にそれを研ぎ澄まし修飾することによって、相手に対しての愛情や敬愛を伝え、自分自身の思考を明快にするという働きもある。

言葉を愛好することで互いに理解しあえることはホモサピエンスのみが進化過程で裏付けられた唯一の行為である。

そう考えると論理に詰まると心の沸騰と沈潜のなかで感情が誹謗中傷に変わり、その果てが暴力のみで解決するという私のような人間は三流以下の人生を送ってきたということになるだろう。



図13 東京谷中墓地 岸田吟香の墓

会員へのお知らせ

日本歯科医師会福祉共済制度について

1. 死亡共済金受取人順位の変更について

受給権者をあらかじめ指定した方で、結婚、離婚、再婚、死別などにより受給権者の状況に変更があった場合（指定の確認は茨城県歯科医師会までお問い合わせ下さい）。

2. 火災・災害共済指定物件の変更について

住宅及び診療所所在地の変更があった場合（変更届出前に火災、災害に遭われた場合、所定の共済金が支払われないことがありますので、変更時に必ずお届け下さい）。

※ これらの変更については、所定の様式がございますから、茨歯会事務局（TEL 029-252-2561：担当 根本）までご請求願います。

茨歯アンテナ

2013年 5 月 3 日（金）茨城新聞

市歯科医師会と 災害時協定締結

那珂市

那珂市は2日、市歯科医師会（小林克男会長）と、避難所での口腔ケアや被災者の身元確認活動などを新たに加えた「災害時の歯科医療救護についての協定」を締結した。

両者は2008年、救護チームの派遣などを盛り込んで協定を締結。東日本大震災時に、避難所での高齢者や障害者らに対して肺を協定に加える。県



歯科医療救護に関する協定を結んだ市歯科医師会的小林克男会長（右）と海野徹那珂市長（中央）＝市役所

に新たな協定を締結したのに合わせた。市役所で行われた調印式で、海野徹市長は「市はこれまでに34基礎自治体と支援協定を締結。今回で歯科医療分野での防災体制充実が図られることは心強い」。小林会長は「今までより踏み込んだ内容の協定。絵に描いた餅にならないよう地域住民のために協力していきたい」と話した。

2013年 6 月 1 日（金）朝日新聞

「経験は人生の宝」だから 被災歯科医院を再開 小林ゆかりさん



高齢者に口腔ケアを説明する小林さん＝水戸市

ぴーぷる

東日本大震災の被害で閉じた水戸市南町3丁目の歯科医院が、年内にも再開する運びとなった。再開を迷っていた歯科医の小林ゆかりさん（52）の背中を押したのは、福島県から避難してきた女性の「経験は人生の宝」という言葉だった。

開業50年。両親も歯科医で、一緒に診察してきた。鉄骨2階建ての歯科医院は

大規模半壊、解体を余儀なくされた。一時は落ち込み、再開を考える余裕もなかった。

市歯科医師会のメンバーとボランティアで避難者の口腔ケア指導に回るうち、福島県から避難してきた女性と親しくなった。苦労しているのに「万事塞翁が馬。経験は人生の宝よね」と笑顔で語る女性と接し、「どんな時にも笑顔でいれば乗り越えられる」と改め

通院していた患者たちからも「再開して欲しい」という声が寄せられ、決断。今年3月、歯学系ではない大学進学を目指している一人息子に「借金をするけど、死ぬまで働ける場所を確保したいの」と話すと、応援してくれた。

矯正歯科が専門。いまは知り合いの歯科医の好意で診察台を借り、以前からの患者を診察。日々進む診療技術の勉強のため、別の歯科医院でも働いている。

歯科医師会主催の高齢者向けの口腔ケア講習も受け持ち、「笑顔は顔の筋肉を動かす。心の健康にもつながる」と呼びかける。

新しい歯科医院は、以前の隣に建つ予定。地域のお年寄りたちの力を借り、乳幼児の一時預けサービスも提供するつもりだ。「若いお母さんの子育て支援をしたい」と話す。（猪瀬明博）

茨城新聞 6月18日（火）掲載

歯科コラム Dental column

Vol. **12**

顎関節症

公益社団法人 茨城県歯科医師会
広報委員会 菱沼一弥

体

を構成する骨のなかで、下あごの骨（下顎骨）は、体の中心をまたいで左右に2つの

関節（顎関節）が存在するとても特異的な骨で、口を開閉する筋肉（咀嚼筋）の働きにより咀嚼、発声などの機能を営みます。口を開じ、かみ合わせた時の位置は、非常に硬い歯が並んだ上下の歯列の影響を受けます。さらに、両耳の前にある顎関節の中には、関節円板と呼ばれる「ラージン線維の板状の組織が存在し、関節の動きと連動して、かみ合わせの際にかかる力のクッションとしての役割を果たしています。

これらの器官の調和が何らかの原因で崩れると、顎関節や筋肉の痛み、運動時の雑音（カクカクという音）、口が開きにくい、あるいはかみにくいなど運動障害の症状が現れ、これらのうち一つ以上の症状があり、他に原因となる明らかな疾患がない場合を顎関節症と呼びます。

原因は様々で、歯ぎしり・くいしばりや、いつも決まった側で頬杖をつくなどの悪習癖、外傷、ストレス、かみ合わせの不具合などが考えられていますが、これらが複合的に原因となっている場合もあり特定は困難です。軽度の場合には、筋肉、靭帯や関節の軽い炎症のみで、自然に治癒する場合もありますが、受診者の約70%に、前述の関節円板の位置的なズレが認められ、このズレの程度が症状の重さに影響します。運動時の痛み、雑音だけの場合から、重症になるとほとんど口が開けられない、あるいは正しい位置に閉じられない（顎が元に戻らない）といこともあります。

治療法としては、痛みがひどい時は鎮痛剤を規則的に服用して頂き、筋肉のマッサージやストレッチ療法などのいわゆる理学療法的治療とともに、スプリント療法を併用する保存的治療がまず選択されることが多いようです。スプリント療法とは、プラスチックの板を歯列全体に装着して（一般的には夜間就寝時のみ）これを調整しながら、かみしめ時の関節への負担を軽減し筋肉の硬直を和らげ、また、顎を本来の正しい位置に誘導し関節円板のズレを治していく治療です。

関節円板のズレが大きくても発症して間もない場合や、若年者の場合には歯科医師 等による徒手整復が奏功することもあります。これらの保存的治療で多くの症例はよくなりますが、明らかにかみ合わせに問題がある場合、その改善が必要になることもあります。さらに、顎関節の病的な変化が進んだ難治例では、口腔外科など専門的な病院での外科的処置が必要な場合もあります。

日常生活に支障がない場合は経過観察をすることもありますが、早期の治療が必要な場合もあり、気になる方は歯科医院への早めの受診をお勧めします。

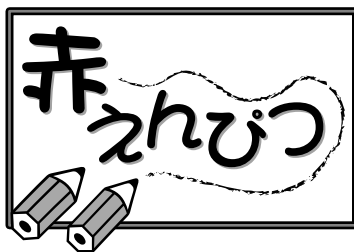


茨城県 ご当地キャラクター

茨城県歯科医師会 PRキャラクター

●次回掲載予定日は8月18日です。

公益社団法人 茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Associationhttp://www.ibasikai.or.jp/
茨城県歯科医師会 検索ご意見、ご質問をメールにてお寄せください。
opinion@ibasikai.or.jp



患者様から頂いた空豆を、つまみにしながら、冷えたビールを飲む。このど越しのために、毎日頑張っているようなものかもしれない。最近特にビールが美味しい季節になってきた、空梅雨？の御陰かな。まあともかく「まずはビール」と。

「夢」 笑われるかもしれませんが、歯科医師になりたかったのは、重力から解き放たれ、いつかなるかもしれない宇宙船の船医ならぬ船歯科医として乗船して、この大宇宙を旅することが夢。母の日のプレゼントも、儘ならない娘からの父の日のプレゼント、どっちが早いか、毎年考える父の日である。

総務・IT委員会の広報部会の委員として、右も左も分からない私に、菱沼先生始め5人の先生方から、色々教えを頂きありがとうございました。法人化の諸事情により、3か月の任期延長となり、その間に委員会の改変により一つの委員会組織としての、広報委員会へと戻りました。

この任期の中で、一番の思い出？として残るのは、100周年記念誌の編集。

8月頃から始まり、その頃はまだまだ平気と思っていたのが、年が明けた1月に入ると俄然編集作業が忙しくなり、このままでは3月までには編集が終了するののかという状況の中、校了出来たのは、私以外の記念誌編集委員の先生方の、潜在能力の高さ故だと思います。その中私も、編集委員として関わったことが一番の思い出の一つです。

菱沼先生や広報委員の先生方と一緒に時間を、過ごせてありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。 (コスモッコ)

先日、母校の総会が水戸京成ホテルで開催されました。礎という広報誌を年2回発行しています。私は写真撮影係なのですが、以前使用していたデジタル一眼レフではフラッシュがなければ話になりませんでした。今のカメラは多少暗くてもよく写り、フラッシュを使用することによる講演の妨げをしないで済むのでとても助かっています。掲載の写真も、暗い部屋でしたがフラッシュ無しです。



県の広報委員に任命されて8年、時の経つのは早いものだと感じています。最初の委員会日、私の診療所に空き巣が入りました。警察の現場検証で時間がかかり、初日に1時間以上遅刻し、恐る恐る部屋に入ったことを覚えています。また、半年くらいして、パチスロ好きの委員が3名いることが判明、楽しく雑談をできたことが懐かしく思えます。

通勤中のラジオでパチンコ屋の宣伝が流れていたのですが、鳴かぬなら鳴かせて見せようホトギスは誰の例えでしょう、という問題付きのものでした。でも今どきのパチスロは、泣かぬなら、泣かせて見せようホトギスのような、、、この頃は、何をやっても出る気がせず、5スロに流れています。 (あさ3)

広報部会として一段落。来期も装い新たに『広報委員会』、一委員としてまたお世話になりますので、よろしくお願いいたします。以前の委員会編成に戻るといことで、メンバーも増えるので赤えんぴつ、表紙写真のヘビーローテーションがライトローテーション(?)になるのかと思うと少し楽かな…。でもネタがない。で、またTVネタ。テレビ東京の深夜枠で、(そろそろ改編時期で終了?)、『めしばな刑事 タチバナ』というのをやっていて、たまたま第2話目を見てから面白くて録画してまで観ている。『めしばな』とは、所謂食べ物の話。原作は漫画らしく、B級、C級グルメ中心の食に関する蘊蓄で、メインテーマとなる食材への愛情を熱く語り、サイドストーリーとして食材を手掛かりに事件を解決するというグルメ作品である。主演は佐藤二朗、脇に小沢仁志、温水洋一とどちらかと言うとマニアックな配役。それよりこのドラマ(漫画)のすごいところは、食品・飲料の商品名やメーカー名が全て実名で登場するところ。「袋入りラーメンといえば?・・・サッポロ〇番!、いやいや、チャ〇メラでしょ!?」「カンヅメといえば?」「牛井なら?」などと、まあ、興味の無い人からすれば、どうでもいいところかもしれませんが(笑)。でも、私はハマってしまったのです。テーマになる食材の歴史や時代による人気の変遷、よく調べてる・・・と興味が魅かれます。食がメインの漫画やTVはよくありますが、食材がヒントになって事件を解決というところが何となく好きな番組です。何気なく見る深夜

ドラマも結構いいものあって、小林薫主演の『深夜食堂』や、バナナマン日村主演の『イロドリヒムラ』も結構“あり”でした・・・。(コバ)

歯科医師の仕事以外の仕事として広報委員会に携わるようになってすでに10年近くが過ぎていた。森永執行部歴0003年、広報部会はこれまでより人員を増やし新たな進化を遂げるため広報委員会に変貌を遂げようとしている。各地区歯科医師会から1名ずつの出向を募り、地区1名の体制にもどし原点回帰し、さらなる高みをもとめて広報委員会は進んでいく?であろう。

というわけで、会報7月号はお休みして8月に7・8合併号となって会員の皆様のお手元に届く予定となっています。7月は全く休むのではなく、新体制・新委員での打ち合わせをし、新企画や年間スケジュールの決定などを行う予定となっております。自分自身の去就も含めて未だ詳細は確定していませんが、今後とも茨歯会報をよろしくお願いいたします。(くすくすくす)

県の広報に携わるようになり1期2年が過ぎました。今号をもちまして、現体制ではひと区切りとなります。

この2年間を振り返ると、なぜかあちこちの役回りが重なってしまい、いろいろな会合にやたらと出席するようになりました。今までの平穏な歯科医師生活から一転、空白だらけだったスケジュール帳がどんどん埋まり、良く言えばアクティブ、実は何かに追いかけているような日々を過ごしてきました。

そんな中、この広報部会はアットホームな雰囲気とで和やかに仕事を行い、とても居心地のいい空



間です（注：仕事は皆きちっと行っております）。また、ちょうど巡り合わせで、100周年記念誌の作製に携わることができました。このような機会はめったになく、ありがたい経験をさせていただきました。

さて、来季もこちらでお世話になる予定です。締め切りぎりぎりになりがちな原稿に反省しつつ、引き続きよろしく願いいたします。（仁）

「色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の旅」村上春樹の新作ですが、不思議なタイトルと話題性で読んでみました。とても軽妙な文章で、ほぼ1日で読みましたが、読み終えると、なるほど、まさにタイトル通りのストーリー。

20年以上前の「ノルウェーの森」を、読んでいたかのような錯覚に陥りました。登場人物も、どこことなくカブってきます。つくる＝ワタナベ、シロ＝直子、沙羅＝緑。読んだことのない方には、ちんぷんかんぷんでしょうが、ほんと、そうなのです。そして、物語の前提に、どちらも身近な人の「死」があります。そこから、始まるのです。そのせいか、軽い文章の中に、どこか重たい雰囲気、ずーっと流れます。

そして、含みを持たせた、すっきりしない結末。シロを殺したのは、もしかして、つくるだったのでは、と思えてきそうな、現実と非現実の境界が曖昧になってくる、これが村上春樹の魔術でしょうか。その後の、展開を読みたいが、続編はないのでしょうか。「ノルウェー」もなかったし。

(hisshy)

原稿募集

身近な出来事から臨床まで皆さまのご意見・感想を載せてみませんか。

「茨歯会報」は会員皆さまの会誌です。臨床におけるヒントや趣味、旅の思い出など、また支部や同好会・同窓会の様々な活動（研修会、厚生事業）など何でも結構です。会報をフルにご活用下さい。

Eメールの投稿で結構です。形式はどんな形式でもかまいませんが、出来ればテキスト、ワード、一太郎、にてお送り下さい。

詳しくは、茨歯事務局まで。

E-mail koho@ibasikai.or.jp

総務・IT委員会 広報部会

みんなの写真館

Photo
Gallery



桜川市雨引山の中腹にある雨引観音は、雨引山楽法寺の通称。
真言宗豊山派に属する、坂東三十三所第24番霊場。
青や紫に色づいたアジサイが緑の中に鮮やかに映えています。
また、境内にはクジャクが放し飼いにされており、どこから
ともなく飛んできては、悠然と歩きまわっています。

(社)茨城・県西歯科医師会 古橋 仁

会 員 数

平成25年5月31日現在

支 部	会員数 (前月比)
日 立	121 +1
珂 北	143 +1
水 戸	155
東西茨城	73
鹿 行	102 +1
土浦石岡	172
つ く ば	115
県 南	180
県 西	153
西 南	107
計	1,321 +3

みんなの写真館写真募集 !!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、御自宅の古いアルバムに埋もれた写真などを御送り下さい。

1種会員 1,135名
2種会員 38名
終身会員 148名
合 計 1,321名



Ibaraki Dental Association

公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 平成 25 年 6 月

発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和 2 丁目 292 番地

電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075

ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>

E-mailアドレス koho@ibasikai.or.jp

発行人 征矢 亘

編集人 菱沼 一弥



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。